



平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月15日

上場会社名 株式会社 京進

上場取引所 大

コード番号 4735 URL <http://www.kyoshin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川寛治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 福澤一彦

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	2,704	—	229	—	221	—	119	—
24年5月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 25年5月期第1四半期 105百万円 (—%) 24年5月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	14.22	—
24年5月期第1四半期	—	—

(注)24年5月期は決算期の変更により、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月となっております。このため、前年同四半期の連結経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第1四半期	7,913	2,308	29.2	275.12
24年5月期	7,738	2,202	28.5	262.51

(参考)自己資本 25年5月期第1四半期 2,308百万円 24年5月期 2,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	—	—	0.00	0.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,079	—	256	—	239	—	128	—	15.26
通期	10,002	—	182	—	147	—	59	—	7.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)24年5月期は決算期の変更により、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月となっております。このため、平成25年5月期の連結業績予想における対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期1Q	8,396,000 株	24年5月期	8,396,000 株
② 期末自己株式数	25年5月期1Q	6,685 株	24年5月期	6,685 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期1Q	8,389,315 株	24年5月期1Q	— 株

(注)24年5月期は決算期の変更により、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月となっております。このため、24年5月期1Qの期中平均株式数については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

前連結会計年度は、決算期変更の経過期間であり、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月間となっております。よって、前期比は記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の持ち直しや企業の業績回復など、緩やかな景気回復傾向が見られるものの、欧州の債務危機問題や長期化する円高などにより、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当業界におきましては、こうした経済情勢に加え、少子化による市場縮小が続く中で、新たな事業領域への参入やITを活用した新たな学習サービス・教材の開発等、様々な取り組みが展開されております。また、業界再編の動きも更に進行すると考えられます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、前期より引き続き人材育成と能力開発、収益改善を最重要課題に据え、研修・教育の強化による社員の質の向上、商品・サービスの品質改善に取り組んでおります。これにより、顧客満足を顧客感動へと高めて、基幹事業である学習塾事業における収益の向上を図っております。

英会話事業、日本語教育事業では、積極的な教室展開を開始、FC事業においては、新規加盟教室の増加と既存加盟教室の早期収益化を進め、利益貢献部門への転換を目指しております。

また、長期的な視点から、国内学習塾市場だけに依存することなく、今後の成長を見据え、新たな収益の柱作りとして、海外展開も含め新規事業への投資を積極的に進めております。そのひとつとして、平成24年8月7日付で当社100%子会社である株式会社京進ランゲージアカデミーを設立し、既存の子会社株式会社オー・エル・ジェイが運営する日本語学校（OLJランゲージ・アカデミー）とは異なる顧客ニーズに対応する日本語学校の運営を開始いたします。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、期中平均生徒数が20,936人となり、売上高が2,704百万円となりました。利益は、営業利益229百万円、経常利益221百万円、四半期純利益119百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の内部振替前の数値によります。
 <学習塾事業>

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、小中部・高校部・個別指導部ともほぼ計画どおりの生徒数を確保し、その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高2,557百万円、セグメント利益463百万円となりました。

<その他の教育関連事業>

幼児教育事業部では売上が計画を21.5%、FC事業部におきましても3.5%上回りました。また、英会話事業部で計画どおり集客が進み、その結果、日本語教育事業部、保育事業部、アルファビートをあわせ、当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は、売上高148百万円、セグメント損失15百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、7,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ、174百万円増加しました。流動資産は、2,064百万円となり213百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の減少259百万円、売掛金の増加389百万円、繰延税金資産の減少99百万円、その他の増加163百万円等です。固定資産は5,849百万円となり、39百万円減少しました。有形固定資産は、3,733百万円（39百万円減少）となりました。無形固定資産は、145百万円（0百万円減少）となりました。投資その他の資産は、1,970百万円（0百万円増加）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、5,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ、68百万円増加しました。流動負債は、2,266百万円となり207百万円増加しました。主な要因は、買掛金の増加41百万円、短期借入金の増加200百万円、未払金の増加39百万円、賞与引当金の増加112百万円、その他の減少168百万円等です。固定負債は3,338百万円となり、138百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少154百万円、退職給付引当金の増加28百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、2,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ、105百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益119百万円の計上による利益剰余金の増加等です。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.5%から29.2%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期通期の連結業績予想につきましては、平成24年7月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,179,084	919,094
売掛金	123,724	513,228
商品	59,576	81,855
貯蔵品	12,833	12,506
繰延税金資産	260,989	161,211
その他	247,738	411,199
貸倒引当金	△33,464	△34,902
流動資産合計	1,850,482	2,064,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,018,008	1,991,359
土地	1,671,759	1,671,053
建設仮勘定	5,037	—
その他	78,018	71,356
有形固定資産合計	3,772,825	3,733,769
無形固定資産		
	146,201	145,434
投資その他の資産		
投資有価証券	76,881	82,975
繰延税金資産	848,722	865,352
敷金及び保証金	958,579	938,116
その他	88,297	85,628
貸倒引当金	△3,094	△1,920
投資その他の資産合計	1,969,387	1,970,153
固定資産合計	5,888,414	5,849,357
資産合計	7,738,897	7,913,549

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,829	59,466
短期借入金	200,000	400,000
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	932,702	905,844
未払金	353,462	393,307
未払法人税等	10,759	26,207
賞与引当金	25,751	138,568
資産除去債務	17,070	10,011
その他	429,457	261,198
流動負債合計	2,059,032	2,266,604
固定負債		
社債	82,400	68,000
長期借入金	1,653,292	1,498,810
退職給付引当金	1,396,289	1,425,025
役員退職慰労引当金	245,039	248,886
資産除去債務	96,391	94,804
その他	4,210	3,354
固定負債合計	3,477,623	3,338,881
負債合計	5,536,656	5,605,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	1,633,287	1,752,567
自己株式	△1,432	△1,432
株主資本合計	2,223,701	2,342,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,678	7,614
為替換算調整勘定	△25,139	△42,532
その他の包括利益累計額合計	△21,461	△34,917
純資産合計	2,202,240	2,308,064
負債純資産合計	7,738,897	7,913,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
売上高	2,704,427
売上原価	1,862,855
売上総利益	841,571
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	611,603
営業利益	229,968
営業外収益	
受取利息	385
受取配当金	942
貸倒引当金戻入額	2,416
雑収入	2,717
営業外収益合計	6,461
営業外費用	
支払利息	12,798
為替差損	229
雑損失	1,648
営業外費用合計	14,676
経常利益	221,753
特別損失	
減損損失	4,696
固定資産除却損	42
特別損失合計	4,739
税金等調整前四半期純利益	217,014
法人税、住民税及び事業税	16,743
法人税等調整額	80,990
法人税等合計	97,733
少数株主損益調整前四半期純利益	119,280
四半期純利益	119,280

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		119,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		3,935
為替換算調整勘定		△17,392
その他の包括利益合計		△13,456
四半期包括利益		105,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		105,823

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	学習塾事業	その他の教育関 連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,557,442	146,984	2,704,427	—	2,704,427
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,139	1,139	△1,139	—
計	2,557,442	148,124	2,705,566	△1,139	2,704,427
セグメント利益又は損 失(△)	463,653	△15,450	448,203	△218,235	229,968

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△218,235千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△218,736千円及びその他の調整額501千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。